

# J A F T M A

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

平成30年10月31日 発行 第72号

## JAPAN ジェンフィッシングショー 2019 in YOKOHAMA

# FISHING SHOW



1.18(金) 19(土) 20(日)

みなとみらい・パシフィコ横浜

1.18 ビジネスタイム 9:00~13:00 一般 13:00~18:00 1.19・20 9:00~17:00

主催：一般社団法人 日本釣用品工業会  
後援：経済産業省・神奈川県・横浜市  
公益財団法人 日本釣具協会・全国釣具公正取引協議会  
協力：公益財団法人 東京釣具コンベンションビューロー  
お問い合わせ：ジャパンフィッシングショー事務局  
〒113-0061 東京都文京区湯島4-36 ヒューリック湯島プレイス4F  
TEL: 03-3532-2511 FAX: 03-5545-2839 E-mail: office@fishingshow.jp  
<https://www.fishingshow.jp/>  
ジャパンフィッシングショー 検索

入場料  
当日：1,300円 前売り：1,100円  
※前売券は10月10日より販売開始  
全国の釣用品店にて前売り券好評発売中  
電子チケットは、  
10月中旬より販売開始!



### CONTENTS

ジャパンフィッシングショー2019 —in YOKOHAMA—	P.1
規格・安全委員会からのお知らせ	P.5
LOVE BLUE委員会からのお知らせ	P.5
第24回理事会開催報告	P.7
会員動向	P.8
事務局だより	P.8

目次

# JAPAN ジャパンフィッシングショー 2019 in YOKOHAMA FISHING SHOW

～ディープな魅力、ライブな感動～

## 出展社説明会&小間割抽選会開催報告

去る9月26日（水）にアットビジネスセンター東京駅八重洲通り会議室にて「出展社説明会」及び「小間割抽選会」を開催致しました。

当日は、出展社および施工関係者など94社/114名の出席をいただき、先ず主催者を代表して大村委員長が出展のお礼と挨拶を述べられた。昨年より掲げた開催理念である「釣り文化を創造し健やかな未来を育む」という大きな理念のもと、世界に先駆け、どこよりも早く世界最高の釣用品と釣り文化を世界の釣人にお伝えするショーとして、様々な企画を進めている説明があり、コアなユーザーはもとより、ライトユーザーにも釣りの魅力を知っていただき、釣り業界全体を盛り上げるため、出展社の皆様にご理解とご協力をお願い致しました。続いて、運営事務局より新たな、広報・動員計画、アトラクション計画についてこれまでの取り組みを報告致しました。引き続き、出展要項、各種申請書類等を詳細に説明し、その後、小間割抽選会と個別相談会をおこない閉会となりました。



### ジャパンフィッシングショー2019 -in YOKOHAMA- **開催概要**

**開催日程：2019年1月18日（金）** **ビジネスタイム** **9:00～13:00**  
**一般公開** **13:00～18:00**  
オープニングセレモニーを9:15より、放流式典を10:00よりおこないます。  
**19日（土）、20日（日）** **一般公開** **9:00～17:00**

入場料：当日 1,300円 前売り 1,100円 高校生以下無料

※障害者手帳をご提示いただいた方とその介護者1名は、券売窓口にて無料チケットをお渡しします

チケット：釣具店

オンラインチケット（チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、CNプレイガイド、EMTG、楽天チケット）

ホームページ：<http://www.fishingshow.jp>

Facebook：<https://www.facebook.com/japanfishingshow/>

Twitter：[@j\\_fishingshow](https://twitter.com/j_fishingshow)

# “釣り文化”を創造し、 健やかな未来を育む。

釣りには、自然や生命とのふれあい、道具へのこだわり、  
家族や釣りファンとの交流など、多様な魅力が詰まっています。

このジャパンフィッシングショーは、日本の多様な自然と  
世界最先端の技術が生む“釣り文化”を、国内外に発信する国内最大級のショー。

“釣り文化”の創造を図り、人々の健康な心と体を育むとともに、  
健やかで美しい社会づくりと釣り界の発展につながる取り組みを続けていきます。

メーカーを始め、釣り業界の関係者が互いに協力し、刺激し合いながら、  
釣り具の“今”を伝え、釣りにまつわる人・モノ・コトが集まる場をつくる。  
そこは、お客さまにとっては、釣りの生きた魅力を肌で感じる絶好の機会であり、  
出展社様にとっては業界最大級のビジネスチャンスでもあります。

釣り界の将来を見据えた、国民的レジャースポーツにするために、  
私たちが創造するのは、“釣り”を通して豊かな社会に貢献する未来です。

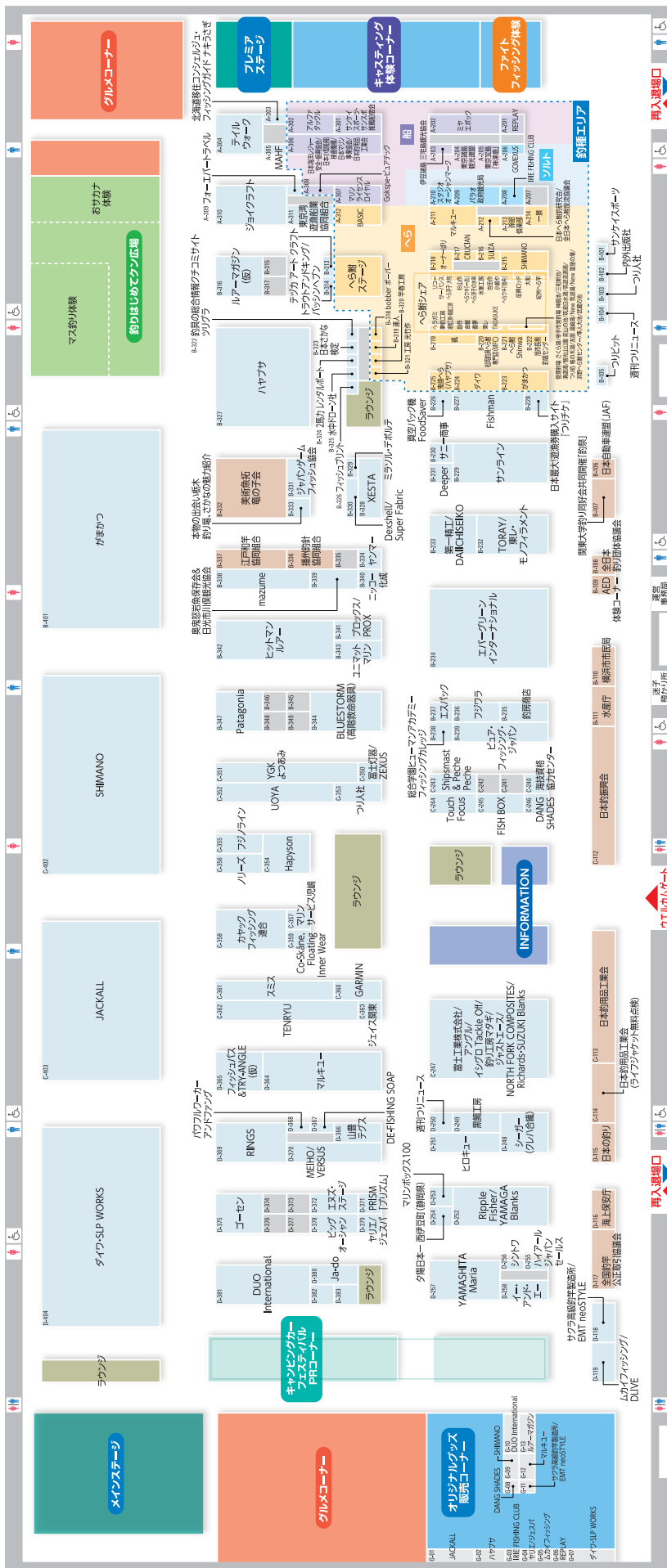
一般社団法人 日本釣用品工業会

会長 島野 容三

## テレビでお馴染みの“さかなクン”もゲスト出演！

ゲストとして、“さかなクン”が土曜日に来場し、  
魚にまつわるお話と、「魚イラスト」のライブペ  
ンティングを行います。コアファンからビギナー、  
女性やお子様にも楽しんでいただけるよう、趣向  
を凝らしたコーナーやイベントをご用意していま  
す。また、新たな企画として、関東大学釣り同好  
会と連携し、ライトユーザーへのアプローチを検  
討しているほか、コアファン、ライトファン、若  
年層などカテゴリーごとに楽しめるよう企画の充  
実を図ってまいります。





## 規格・安全委員会からのお知らせ



桜マーク：国土交通省型式承認品  
ライフジャケット



CSマーク：日本小型船舶検査機構 性能鑑定適合品  
レジャー用ライフジャケット (固型式)

を推奨いたします。

規格・安全委員会ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ（高階才文リーダー）では、当工業会が着用を推奨する国土交通省型式承認品ライフジャケット及び日本小型船舶検査機構（JCI）性能鑑定適合品 レジャー用ライフジャケット（固型式）について普及啓発ポスターおよび推奨表が国土交通省・海上保安庁・水産庁によって内容の確認を終えた最新版（2018.7改定版）をWG各社等のご協力のもと全国の釣具店等に配布いたしました。

この推奨表は、当工業会HP「規格・安全」からもご覧頂けます。（PDF版ダウンロード可）

一般社団法人日本釣用品工業会は信頼あるライフジャケットを推奨します

国土交通省型式承認品 ライフジャケット | CS JCI 日本小型船舶検査機構 性能鑑定適合品 レジャー用ライフジャケット (固型式)

2018年9月1日現在、国土交通省型式承認品として、第1期すべての規格品にライフジャケットを記載することが義務付けられました。

使用環境	認定状況	ライフジャケット推奨表					
		Type A	Type D	Type F	Type G	CS	JCI
釣行時	国土交通省型式承認品	○	○	○	○	○	○
釣り場	国土交通省型式承認品	○	○	○	○	○	○
釣り船	国土交通省型式承認品	○	○	○	○	○	○
釣り具	国土交通省型式承認品	○	○	○	○	○	○
釣り場	国土交通省型式承認品	○	○	○	○	○	○
釣り船	国土交通省型式承認品	○	○	○	○	○	○
釣り具	国土交通省型式承認品	○	○	○	○	○	○

※推奨表は、国土交通省型式承認品及びCS JCI性能鑑定適合品のライフジャケットを対象としています。国土交通省型式承認品は、国土交通省型式承認品として記載されています。CS JCI性能鑑定適合品は、CS JCI性能鑑定適合品として記載されています。

※推奨表は、国土交通省型式承認品及びCS JCI性能鑑定適合品のライフジャケットを対象としています。国土交通省型式承認品は、国土交通省型式承認品として記載されています。CS JCI性能鑑定適合品は、CS JCI性能鑑定適合品として記載されています。

※推奨表は、国土交通省型式承認品及びCS JCI性能鑑定適合品のライフジャケットを対象としています。国土交通省型式承認品は、国土交通省型式承認品として記載されています。CS JCI性能鑑定適合品は、CS JCI性能鑑定適合品として記載されています。

【推奨表】



【ポスター】

## LOVE BLUE 委員会からのお知らせ

### 大井川茨城県知事を、島野会長、大村副会長、加藤副会長、小島顧問並びに柿沼理事が表敬訪問

9月28日（金）つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業では、第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018 10/15～10/19）の開催を前に、事業開始より6年間、全国各地をはじめ、中でも茨城県下での釣界が取り組む社会貢献事業へのご理解とご協力の御礼と、世界湖沼会議でのLOVE BLUE事業の活動報告の機会を頂いたこと、並びに今後一層、茨城県内でのLOVE BLUE事業の推進をお伝えするため、大井川 和彦 茨城県知事へ表敬訪問致しました

知事からは、「社会貢献事業として取り組まれている、LOVE BLUE事業、本当にありがとうございます！引き続き宜しくお願いします」と御礼のお言葉を頂きました。



右から 小島顧問、大村副会長、大井川茨城県知事、島野会長、加藤副会長、柿沼理事



和やかな懇談の様子

## 第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）にて小島顧問が講演

10月13日（土）小島顧問・LOVE BLUE委員長は、第17回世界湖沼会議サテライトつちうらメイン会場にて、「豊かな自然こそ私たちの未来そのもの」とのLOVE BLUE事業の理念を茨城県霞ヶ浦でのプロダイバーによる水中クリーンアップ活動実施による水質浄化活動の実績報告を基に講演を行いました。



右 中川清 土浦市長、中央 小島顧問、左 柿沼理事



講演を行う小島顧問

霞ヶ浦の環境保全活動に取り組む皆様とともに、当工業会もパネル展示



10月17日（水）世界湖沼会議参加者の皆様に水中クリーンアップ活動をご覧いただきました。

## プロダイバー水中クリーンアップ

7月～9月までの実績

7/3～ 7/7	5日間	栃木県塩谷町	東古屋湖
7/14	1日間	茨城県茨城町	酒沼
7/18～ 7/21	4日間	北海道広尾町	十勝港
7/31～ 7/28	5日間	北海道古平町	古平漁港
7/31～ 8/4	5日間	北海道積丹町	美国漁港
8/21～ 8/24	4日間	鹿児島県枕崎市	枕崎漁港
8/27～ 8/30	4日間	長崎県長崎市	長崎港

9/7～ 9/10	4日間	愛媛県伊方町	九丁漁港・田之浦漁港
9/13～ 9/15	3日間	高知県土佐市	宇佐漁港
9/18～ 9/20	3日間	岡山県瀬戸内市	牛窓港
9/22～ 9/25	4日間	徳島県阿南市	橋泊漁港
9/29～ 10/3	5日間	和歌山県海南市	戸坂漁港

合計 10道県 47日間実施（栃木県で初めて実施いたしました）



栃木県塩谷町 東古屋湖



北海道積丹町 美国漁港

## 森・川・海 かがやく未来へ 第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～との連携

9月13日（木）～9月15日（土）の3日間、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～の公式協賛行事として実施いたしました。水中クリーンアップ活動の会場では、大会公式キャラクターである「くろしおくん」の横断幕、幟を掲げ連携をアピールいたしました。



大会公式キャラクター「くろしおくん」

## 専門機関と連携した放流

### 鹿児島県でのマダイの稚魚放流

7月1日（日）、7月11日（水）の両日、マダイの稚魚10.9万尾が専門機関である公益財団法人がごしま豊かな海づくり協会との連携で、鹿児島県錦江湾に放流されました。当日は鹿児島県商工労働水産部水産振興課、鹿児島市生産流通課、鹿児島市漁業協同組合、鹿児島本港一本釣組合、遊漁船協会鹿児島本港区船だまり会、近隣の釣具店の皆様、また釣り人の皆様からもご協力を頂きながら地元の皆様方と一緒に放流を実施いたしました。



放流の様子

## 青森県でのヒラメの稚魚放流

7月23日(月) ヒラメの稚魚3万尾を専門機関である公益社団法人青森県栽培振興協会との連携で、青森県つがる市車力町の車力漁港沖で放流されました。当日は、青森県西北地域県民局地域農林水産部鯉ヶ沢水産事務所の皆様、車力漁業合同組合の皆様にもご協力を頂きながら放流を実施いたしました。



放流の様子

## 神奈川県でのマダイの稚魚放流

7月31日(火) マダイの稚魚10万尾を、専門機関である公益財団法人神奈川県栽培漁業協会との連携で、東京湾口3ヶ所(金沢沖・久里浜沖・松輪沖)にて放流をいたしました。当事業では、事業開始以来6年間で、東京湾口3ヶ所にマダイの稚魚を110万尾放流いたしました。



放流準備の様子

## 水産庁後援 内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

### ワカサギ試し釣り

9月14日(金)に、ワカサギ卵孵化施設を支援させて頂いた群馬県高崎市鳴沢湖において、ワカサギ釣りシーズン突入を前に試し釣りが行われました。



当日捕獲されたワカサギ

### 2019年度 ワカサギ卵孵化施設支援先の決定

水産庁後援事業として、全国からの応募受付(期間5/15~6/29)を行い、水産庁、中央水産研究所、全国内水面漁業協同組合連合会の皆様方にご協力を賜りながら、当工業会LOVE BLUE委員会が厳正なる審査を行い2019年度ワカサギ卵孵化施設等の支援先が、下記の通り決定いたしました。

事業番号	実施場所	事業主体
003	埼玉県 名栗湖	入間漁業協同組合
004	千葉県 高滝湖	養老川漁業協同組合
005	兵庫県 音水湖	揖保川漁業協同組合
006	茨城県 霞ヶ浦	霞ヶ浦漁業協同組合
007	群馬県 梅田湖	両毛漁業同組合
008	島根県 尾原ダム	さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会
009	山梨県 河口湖	河口湖漁業協同組合

## 企画プロジェクトからのお知らせ

企画プロジェクト(櫻井孝行リーダー)では、会員の皆様に向けた新たなサービスとして、海外進出のきっかけ作りについて検討しております。その一環として海外フィッシングショー出展新サービスを検討しております。後日この件に関しまして、会員の皆様へアンケートを実施させていただきますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。詳細は、後日お送りさせていただきます。ご案内をご高覧ください。

## 会員向け初回無料法律相談の実施

会員の皆様へ、初回無料にて法律相談をご利用頂けるサービスのご提供を行っております。初回無料法律相談の詳細は、別添資料をご覧ください。

## 第24回理事会開催報告

去る、平成30年9月27日(木)に、日本フィッシング会館8階会議室において第24回理事会が開催されましたので概要をご報告いたします。

### 《議案審議》

#### 第1号議案 委員会活動報告に関する件

##### (1) LOVE BLUE委員会

小島忠雄委員長より、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業の参加企業、プロダイバー水中クリーンアップ活動、自治体との関係、専門機関と連携した放流、水産庁後援 内水面の釣り場拡大(ワカサギ)等々の報告があった。

##### (2) JAF実行委員会

大村一仁委員長及び事務局より、釣り人口が伸び悩む中、JAFでは新たな開催理念「“釣り文化”を創造し、健やかな未来を育む」を掲げ、世界に先駆け新製品を紹介しながら、工業会が様々な方面で活動をしている事を、業界の内外を問わず発信していき、JAF2019を盛り上げていきたいと考えている。また、出展申し込み状況、広報・動員施策等々の報告があった。

##### (3) 規格・安全委員会

藤井治幸委員長及び事務局より、ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループの取組、店頭ポスター及び国土交通省型式承認品(いわゆる桜マーク)・日本小型船舶検査機構性能鑑定適合品給ジャー用ライフジャケット(固型式)推奨表ポスター配布等々について報告があった。

## (4) 市場調査委員会

大竹有司委員長より、第22回釣用品の国内需要動向調査を釣用品関連企業に対して「基礎調査」「釣り種別調査」「トレンド調査」を実施する報告があり、数量調査の対象品目の拡大、商品分野の定義、基礎調査における「ルアーロード」の細分化、等々の検討をおこなった報告があった。

## 第2号議案 釣り人口拡大施策に関する件

### (1) 企画プロジェクト報告

櫻井孝行リーダーより、「あした、釣り行こ！通信」では、釣り初心者、20～30代女性とファミリー層に向け、情報発信戦略をとっていくこととなった。また、企画プロジェクトでは、会員向け新サービスの提供を検討しており、昨年9月より初回無料法律相談の実施を開始したとの報告があった。

### (2) 釣りミライプロジェクト

大村一仁リーダー及び事務局より、釣り人口拡大のため、これから釣りを始めようとしている人たちに応援するという観点から業界が取り組むべき課題について、プロジェクトメンバー各社の若手社員によるワークショップ形式の会議を開催したとの報告があった。

## 第3号議案 平成30年度4月～8月収支状況に関する件

事務局より、別添資料に基づき、平成30年度4月～8月収支状況の報告があった。

## 第4号議案 会員代表者変更及び入退会に関する件

事務局より、別添資料に基づき、退会届2社、入会届1社（賛助会員）、社名変更1社受理しているとの報告があった。

## 第5号議案 会計業務合理化に関する件

事務局より、会計業務の合理化を図る為、会計ソフト入力のアウトソーシングを実施する。それに伴った日釣工会計処理規定の見直し（案）の報告があった。

## 第6号議案 規則・規程改正に関する件

事務局より、別添資料に基づき、就業規則（定年）条項追加（案）の報告があった。

## 第7号議案 会長・専務理事の職務執行状況に関する件

小松専務理事より、自己の執行状況とあわせて以下の通り報告があった。

①事業の推進に関しまして、この4月より2018年事業年度がスタートいたしました。3月23日開催の第22回の理事会で承認を得ました2018年度事業計画並びに予算に従い、島野会長の下、業務を適正に執行しております。

②当工業会は、事業計画に基づいた事業を各委員会とそれぞれのWG、並びに諮問機関である企画プロジェクトおよび釣りミライプロジェクトで推進しておりますが、その執行状況につきましては、本理事会の第1号議案・第2号議案で詳細にご報告申し上げました通りでございます。主たる事業のひとつであるLOVE BLUE事業は、全国の水中清掃で行政・漁業者等から得た社会的信頼関係を基礎に、今年度より全国展開を開始しました放流事業、同様に今年度から水産庁後援事業として展開しております内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）も、各関係各所のご支援をいただき、ほぼ計画通りに執行されております。JAF2019は小間数減少が見られる状況ですが、出展社数は過去最大を目指して奮闘中です。

③一般社団法人移行後の業務運営に関しまして、平成25年4月1日に当工業会は一般社団法人に移行し、その後「公益目的支出計画」に基づき実施しております。平成29年度の公益目的支出計画実施報告書ですが、必要書類を取りまとめ、6月26日に内閣府に提出し受理されております。現在、最終的な審査を待っている状況です。

## 第8号議案 その他報告承認に関する件

### (1) (一社) 日本釣用品工業会 後援名義使用許諾申請に関する件

### (2) 日本フィッシング会館 日釣工分土地・建物 抵当権抹消に関する件

議長がこれらを議場に諮ったところ、満場異議なく可決承認した。

以上。

## 会員動向

### 第24回理事会で次のとおり入会1社、退会2社が承認されました

#### 【入会会員（賛助会員）】

◆株式会社インターナショナルスポーツマーケティング 代表者：高木 貞治 氏  
〒105-0004 東京都港区新橋4-5-1 アーバン新橋ビル10F  
Tel03-6402-8011 Fax03-6402-8012

#### 【退会会員】

◆株式会社キサカ 代表者：久保木 成 氏  
〒590-0984 大阪府堺市堺区神南辺町4丁120-1  
Tel072-233-8888 Fax072-233-8833

◆TICA JAPAN株式会社 代表者：下倉 泰一 氏  
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-24-8-502  
Tel03-5847-4095 Fax03-5847-4096

#### 【法人変更のお知らせ】

◆アングラズリパブリック株式会社は株式会社パームスに社名変更されました。



## 事務局だより

■去る9月26日（水）に「ジャパンフィッシングショー2019」出展社説明会及び小間割抽選会が開催され、各出展社の小間位置が決定しました。今年もたくさんのご出展をいただきありがとうございます。会期までに、前売りチケットの拡販及びSNSを利用した情報の拡散に努め、来場者誘致に取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

■第22回釣用品の国内需要動向調査は、この10月5日で締め切れ、市場調査委員会では回答状況の確認と市場規模数値の検討作業に入っております。調査結果は来年2月初旬に会員皆様のお手元にお届けする予定ですのでご期待ください。

**JAFTMA**  
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人  
**日本釣用品工業会**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5F  
TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>